

科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
国語表現	2	3年・普通科 プログレッシブ	選択I2	国語表現 (大修館書店)	国語表現 基礎演習ノート

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面や形式に沿った文章表現ができる能力を養う。また文章表現に必要な語彙力、表現の仕方、わかりやすい表現のための知識を身につける。文章を読んでその内容についてまとめたり、その中から必要な情報を読み取ることができる力を養う。</li> <li>・自らの思いや意見、考えを、説得力を持って相手にわかりやすく伝える方法(文章で、口頭で、ディベートで)や表現力を養う。</li> </ul>
主な学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章表現において原稿用紙を使用した際に正しく表現できるよう確認する。文体の統一、主述のねじれなどの乱れが生じないように表現の練習を行う。また、就職進学を意識して過去の出題形式やテーマについて学習し、過去問で練習をする。自分の意見を人に伝えるスピーチ、討論の練習を行う。</li> <li>・主に教科書を使いながら、多様な表現方法について学ぶ。</li> <li>・生徒の実態・状況に応じ、表現の基礎となる語彙を増やし、表現を豊かにするための知識を学習する。漢字や仮名遣い、送りがななどの正しい表記ができるよう確認する。</li> </ul>
評価の観点・規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしているかという観点から「関心・意欲・態度」を評価する。</li> <li>・目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させているかという観点から「話す・聞く能力」を評価する。</li> <li>・相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させているかという観点から「書く能力」を評価する。</li> <li>・言葉の特徴や決まり、役割などについての理解を深め、知識を身につけているかという観点から「知識・理解」を評価する。</li> </ul>
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査は予定として学期に一度、あらかじめ課題を知らされた内容について、小論文を時間内に書き上げ提出する。また、学習事項についての確認し、発想の力を問う。これらによって「書く能力」「知識・理解」の度合いを判断・評価する。</li> <li>・毎授業時に提出物を課題とするので、必ずその時間ごとの取り組みを大切にしているかどうかということから、主に「関心・意欲・態度」「書く能力」の度合いを判断・評価する。</li> <li>・授業で行うスピーチやディベートなどにより「話す・聞く能力」の度合いを判断・評価する。</li> <li>・授業・課題への取り組みを通し、「関心・意欲・態度」の度合いを判断・評価する。</li> <li>・総合的に「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「知識・理解」を評価する。</li> <li>・各学習のまとめ段階では、自己評価や相互評価も活用する。</li> </ul>

学期	内容
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・漢字と語彙の確認</li> <li>・目的に応じて、言葉遣いや文体などを工夫して、読みやすく整った文を書く。</li> <li>・文の組み立て、語句の意味、表記のしかたなどを理解し、語彙を豊かにする。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原稿用紙の使い方</li> <li>・小論文入門</li> <li>・反論を想定しながら主張を説く小論文</li> <li>・自己PR</li> </ul>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料やグラフを読み取って書く小論文</li> <li>・ディベート: 聞く力や話す力を高める。</li> <li>・創作: 小説、詩、俳句、短歌などを創作し、各種コンクール等に応募する。</li> <li>・スピーチ: 決められたテーマ、時間でスピーチをし、話す力を高める。原稿を作成し、練習を行い、本番は暗記で行う。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビュー: 身近な人にインタビューを行い、聞く力を養う。また、それを文章化することで、書く力を鍛える。</li> <li>・本の紹介: これまでの読書歴を振り返り、本紹介を行う。</li> </ul>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題作文、小論文の演習。</li> <li>・手紙を書こう…親しい人に感謝の手紙を送る。</li> </ul>

備考 ・ 講座の特色 ・ 履修条件 ・ 注意事項 等	<p>定期テスト以外に一時間ごとの課題作品を評価するので、できる限り欠席をしないよう心掛けること。</p> <p>提出物の期限を厳守すること。</p>
--	---